



きたじゅっけんがわ

北十間川かわまちづくり

【題名】官民連携により水辺とまちの一体的空間づくりを実現

【河川】荒川水系北十間川（一級河川）



かわまちづくりの概要

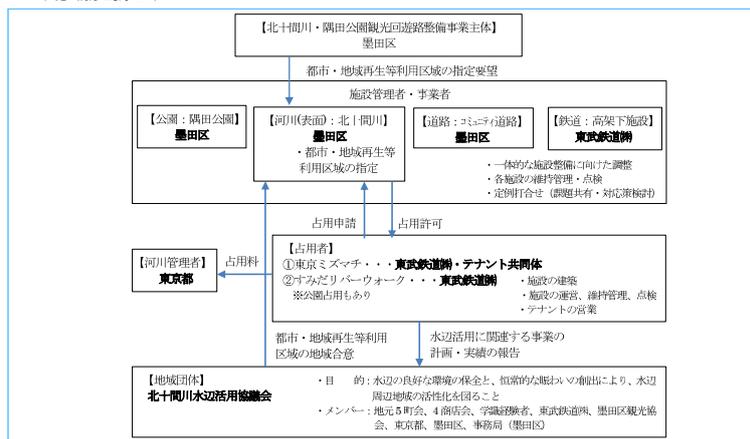
- ・官民連携により、水辺・鉄道高架下・道路・公園が隣接する立地を活かした一体的空間づくりを実現。
- ・都市・地域再生等利用区域の指定により、河川敷地内に遊歩道、商業施設等の利活用を考えたハード整備を行うことで観光拠点間の回遊性の向上を図り、新たな賑わいを創出。
- ・水辺の良好な環境保全及び恒常的な賑わい創出により地域の活性化を図ることを目的として、住民、関係機関等とともに継続的な議論を実施。

評価のポイント

- ・民間事業者の積極的な関与により、官民が連携して水辺の利活用を考えた工夫あるハード整備を都心部において実現したことはとても高く評価できる。
- ・観光拠点を結ぶ新たな動線や商業施設が生まれ、今後さらなる賑わいの創出が期待できる。
- ・行政と民間事業者が「Design Guideline」を設定し、地区全体のデザインの指針としてまとめて共有し、一体的空間を実現したことは、他の地区の参考となる。

体制

- ・推進主体：墨田区、東武鉄道（株）、北十間川水辺活用協議会



管理運営体制図

効果



「すみだリバーウォーク」の通行者数

問合せ先：墨田区都市整備部都市整備課

TEL：03-5608-6294

E-Mail：TOSHISEBIKA@city.sumida.lg.jp



ごかせがわ
五ヶ瀬川かわまちづくり

【題名】 【水郷のまち延岡】の3つの拠点の特性を活かしたかわまちづくり
【河川】 五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川・大瀬川（一級河川）



かわまちづくりの概要

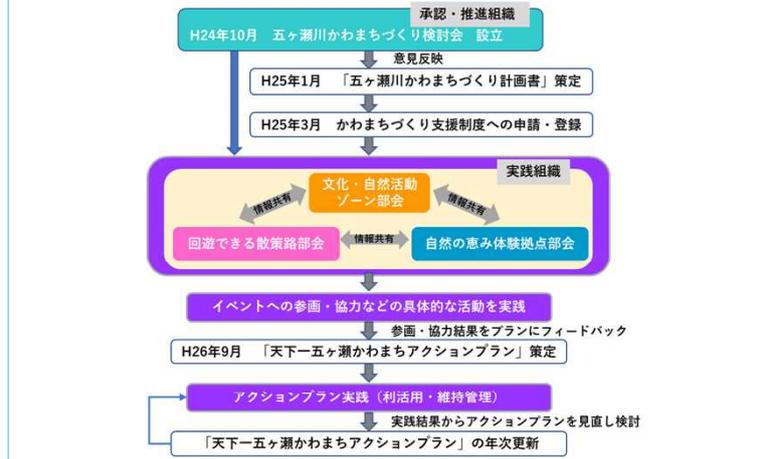
- ・300年以上の歴史を持つ地域資源「鮎やな」を中心とした拠点施設を整備し、食事処の設置や、水防歴史文化である「壘堤」の常設展示、記念碑の建立、壘堤に絵画を差し込み展示する青空美術館の開催など、歴史・文化を守り、賑わいを創出する取組が行われている。
- ・かわまちづくり計画の実践組織として、特徴ある3つの拠点ごとの部会が構成され、様々な活動主体がそれぞれの役割を持ち、連携しながら戦略的・総合的な取組を行っている。また、「アクションプラン」を策定し、実践結果をもとに見直し・更新を継続している。

評価のポイント

- ・鮎やなや壘堤など、地域資産や防災にまつわる歴史・文化を利活用しながら継承している取組はとて高く評価できる。
- ・高校生が河川でのイベントのボランティアとして運営に参加するなど、次世代への人材育成にもつながっている面から継続性において評価が高く、他の地区の参考となる。

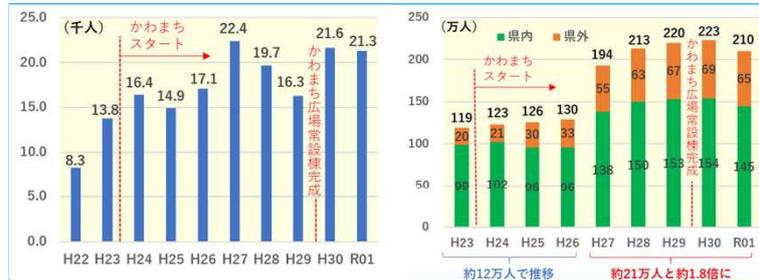
体制

・推進主体：五ヶ瀬川かわまちづくり検討会



管理運営体制図

効果



左：鮎やな食事処来訪者数

右：延岡市への観光客数

問合せ先：延岡市都市建設部土木課

TEL：0982-22-7021

E-Mail：doboku@city.nobeoka.miyazaki.jp